

株式会社 宇和島プロジェクト
UWAJIMA PROJECT

代表取締役社長 木和田 権一

海面養殖の現状の課題について

日本の養殖業の中でも愛媛県は養殖の中心地であり、豊かな海洋環境と先進的な技術開発により、特にマダイやブリは生産量だけでなく、品質においても全国的に高い評価を得ている。しかし、近年、個人経営生産者の数が減少しており、養殖現場では重労働や不安定な収入といった課題が顕在化してる。

主要産地 上位

ブリ類



都道府県	令和3(2021)年 生産量(万トン)
全国計	13.4
鹿児島	4.3
愛媛	2.0
大分	2.0
宮崎	1.2
長崎	0.9
高知	0.9
香川	0.7
熊本	0.5
徳島	0.4
三重	0.3

マダイ



都道府県	令和3(2021)年 生産量(万トン)
全国計	6.9
愛媛	3.8
熊本	1.0
高知	0.7
三重	0.4
長崎	0.3
和歌山	0.2

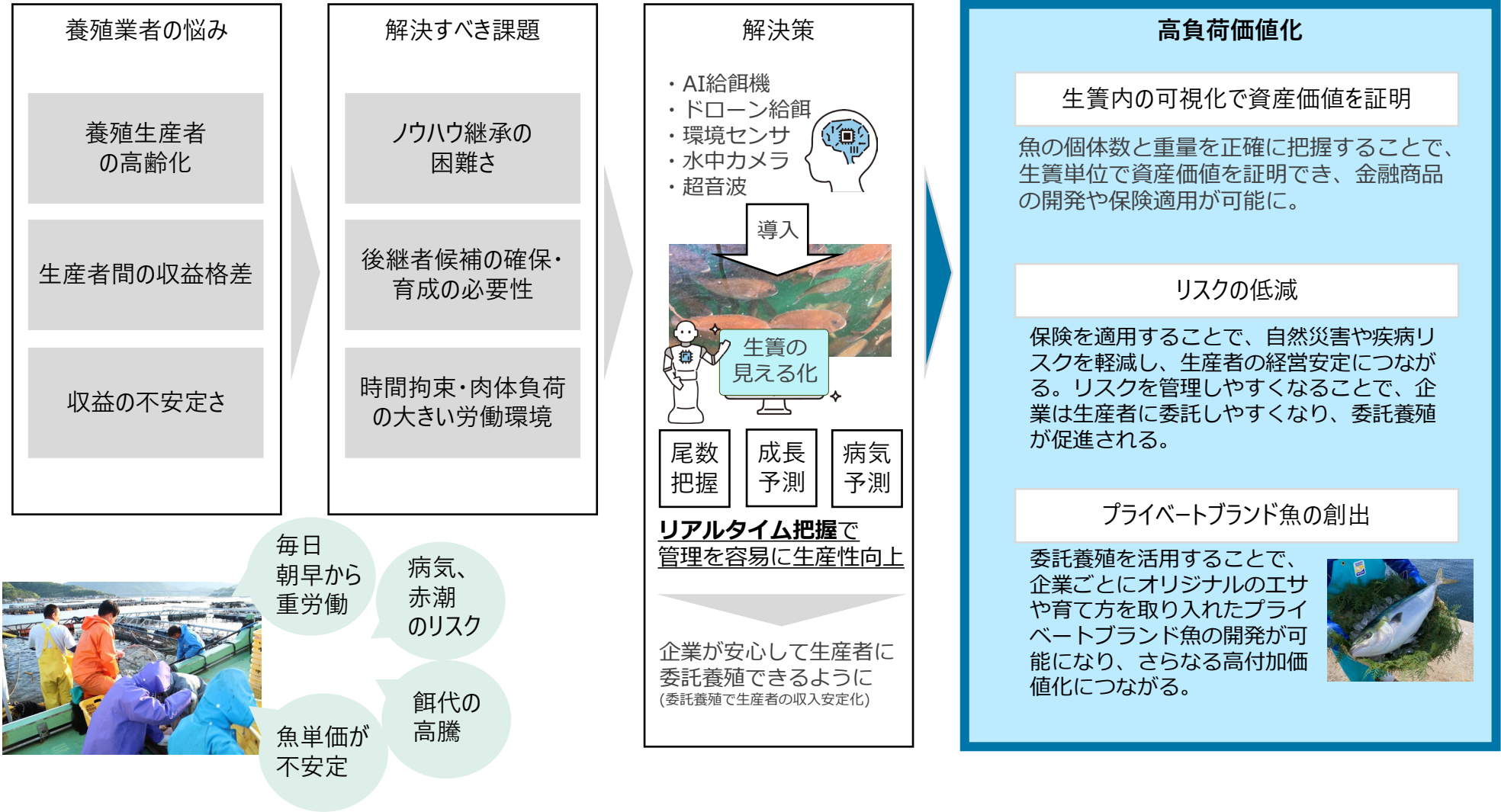
ぶり類・まだい養殖業の生産量と経営体

経営体数の推移と 1経営体あたり生産量 経営体数減少



課題解決が
急務

デジタル技術を活用した養殖の高付加価値化



現場から

デジタル活用で、地域産業を持続可能な仕組みに。